

(書式 1 - 4 - 17)

一定の条件で負担義務を免責する場合の遺言書

遺 言 書

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第1条 遺言者は、その所有する次の不動産を、姪〇〇〇〇（昭和〇〇年〇〇月〇〇日生、住所〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号）に遺贈する。但し、受遺者は、遺言者の妻〇〇〇〇に対して同人が生存中、その生活費を負担するものとし、毎月金〇〇万円也を毎月末日までに妻の住所に持参又は送金して支払うこと。

所 在 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目

地 番 〇〇番地

地 目 宅地

地 積 〇〇〇・〇〇平方メートル

第2条 前条記載の遺贈の目的の価額が遺留分減殺請求により5割以上減少したときは、受遺者の負担の全部を免責する。

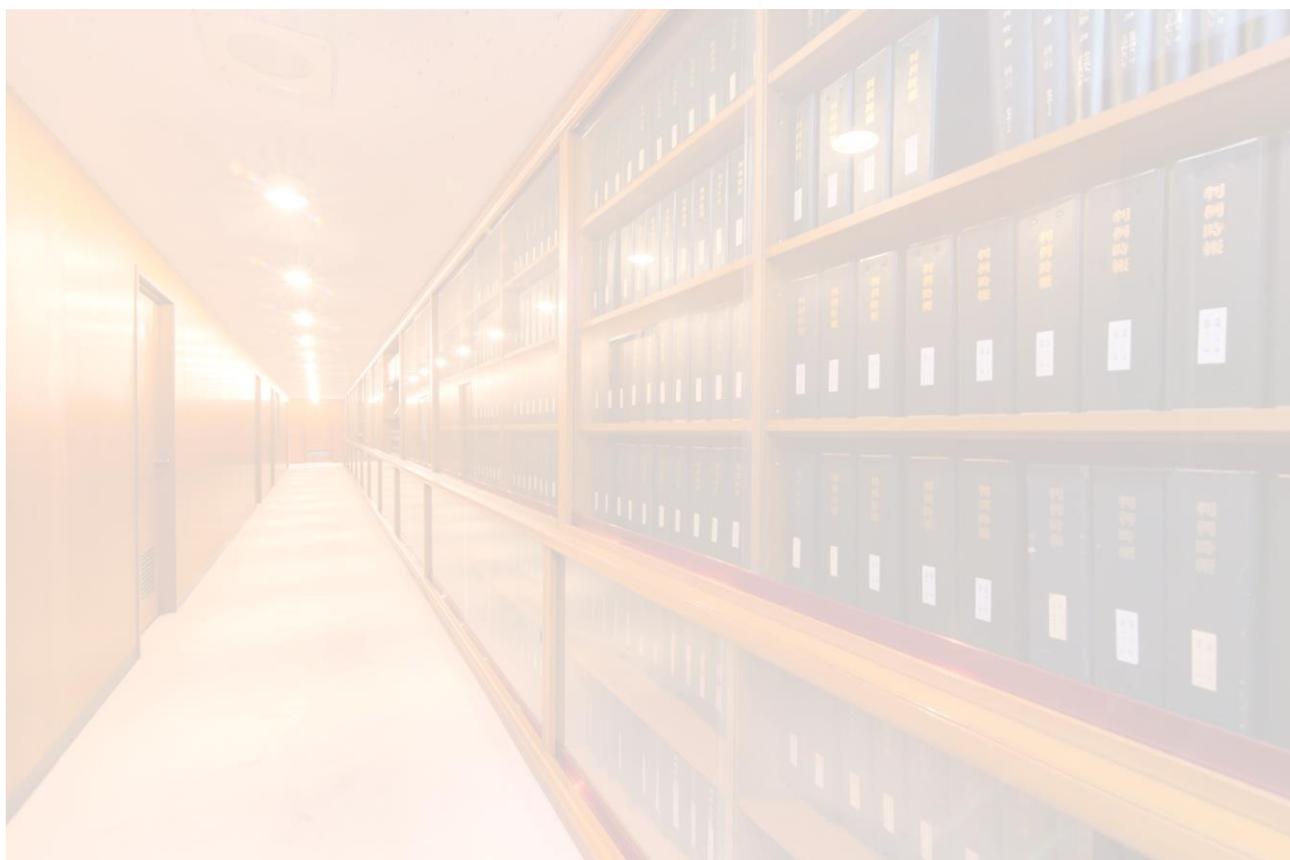
平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号

遺言者 〇 〇 〇 〇 印

## 解説

遺言者は、負担を全部免責する定めのほか、負担を一部軽減する定めを遺言することもできる（民法第1003条但書）。



\* 遺言書の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/will/> をご覧下さい。

弁護士法人朝日中央綜合法律事務所